



こどもみらい館開館20周年記念

今年、こどもみらい館は開館20周年を迎え、さまざまな記念事業を開催しています。

5月11日(土)、龍谷大学響都ホールにて、東京大学大学院教授 秋田 喜代美さんをお招きして、講演会を開催いたしました。194名が参加し、今の時代にこそ大切にしなければならないものは何か、過去20年を振り返り、現在の国内外の事例を取り入れながらお話しいただき、学びの多い研修となりました。

令和元年度 第2回共同機構研修会

令和元年5月11日(土)

これからの保育・教育を考える



講師 秋田 喜代美 東京大学大学院教授

これからの社会においては、子ども時代にも大人になってからも、Well-Being (よりよくあるということ) と Happiness (幸せ) が大事だと思っています。不確実で複雑で曖昧で急激に変化していく世界の中では、主体性や創造性を育むことがとても大切になるでしょう。自律的に判断し、しかも一人ひとりの幸せと同時に、社会のみんなが幸せになるように、仲間や保育者・教師、保護者、地域の人たちと共に新たな価値を創造していくことです。そのためには、大人に言われたからするのではなく、子どもであっても自ら問いを持ち、見通しを持って行動し振り返りながら学ぶことが大切になります。それらを育むのは乳幼児期においては遊びでしかないと考えています。

遊びの中で夢中になるからこそ、さらに挑戦をしてワクワクしていく、夢中になることによって、その物事に対するこだわりや愛着や安心感が生まれていきます。そうすることにより、その活動の意味やそれが大事だと思えるようになることが必要です。また、大人はできたところに目がいってしまいがちですが、傍から見るとうまくいっていないと見える時間はうまくなりたいたとチャレンジをしている、すなわち子どもにとっての向上の時間です。「でき

る」「できない」は素人にでも見えます。私たちは保育や教育の専門家として、できようとしているプロセスやそこでの子どもの思いをいかに読み取り、どうかかわるかが問われているのだと思います。

そしてそのための場と時間と人ともものという環境をどう捉え、どこまで保障できるのか、それを保護者、地域の方、学校の方にどのように分かっていただくかが、今、私たちに問われていると思います。

これからは様々な園（所）や学校がつながり、どのように学び合い、支え合い、学び続けていくのか、いろいろな工夫を互いに共有し、よりよい姿をみんなで考えていくことが一層大切になっていくと思います。

講義の詳細は、要録ページをご覧ください。 [要録ページへ](#)

研修の様子



受講者の声

保育・子どもの面白さに改めて感動しました。日々大切にしていきたいです。

子どものことを思い浮かべてたくさん学べました。ワクワクしました。月曜日からの保育に活かします。ありがとうございました。

隣の人と研修のふり返りを話すことで、より学びが深まりました。

この20年、これからの20年、大切なことをたくさん教えていただきました。深く考え前進していきたいと思いました。

子どもを育む喜びを感じ、
親も育ち学べる取組を進めます。

[京都市はぐくみ憲章]より

「はぐくみ文化」
を未来の京都へ

この印刷物が
不要になれば
「雑がみ」として
古紙回収等へ！



発行日 令和元年8月26日
発行者 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館
〒604-0883 中京区間之町通竹屋町下る楠町 601-1
Tel : (075)254-5001 Fax : (075)212-9909
URL : <https://www.kodonomirai.city.kyoto.lg.jp/>